

いのちの大切さを考える絵本

読み聞かせを楽しみながら
いのちの大切さを考えてみませんか？
市内5つの図書館で借りられます。

東村山市立図書館

かみさまからのおくりもの ひぐちみちこ／著 こぐま社

「よく笑う」という贈り物をもらった赤ちゃんは、よく笑う明るい子どもになりました。みんなは、どんな贈り物をもらったのでしょうか？

おとうさんがおとうさんになった日 長野ヒデ子／作 童心社

赤ちゃんが生まれて、お父さんは“お父さん”になりました。『おかあさんがおかあさんになった日』もあります。

うちにあかちゃんがうまれるの いとうえみこ／文 伊藤泰寛／写真 ポプラ社

まなかちゃんのうちに赤ちゃんが生まれることになりました。お母さんは病院ではなく、家で赤ちゃんを産むことにしました。臨場感のある写真絵本です。

さっちゃんとなっちゃん 浜田桂子／さく・え 教育画劇

さっちゃんはなっちゃんが好き、なっちゃんはさっちゃんが好き。2人は仲良しだけど全然似ていない。同じじゃないんだよ……。

せかいいちうつくしいぼくの村 小林豊／作・絵 ポプラ社

アフガニスタンの小さい村に暮らすヤモという男の子の家族を中心に、人々の生活を描いています。ぜひ『ぼくの村にサーカスがきた』『せかいいちうつくしい村へかえる』の3冊セットで読んでください。

100万回生きたねこ 佐野洋子／作・絵 講談社

100万回死んで、100万回生きた猫がいました。1度も泣いたことがない猫が泣いたのは、どんなときだったのでしょうか？

わすれられないおくりもの スーザン・バーレイ／さく・え 小川仁央／訳 評論社

親切なおナグマが年をとって死んでしまい、動物たちは悲しみます。でも、みんなにはおナグマとの思い出が残されていました。

みんなぜんぶいろんな 中川ひろたか／文 奥田高文／写真 ブロンズ新社

くだものも、鳥も、草も、いろんないのちが輝いています。鮮やかな写真絵本。

【平成17年度 東村山市「いのちの教育」推進プラン関連事業】